



廿日市市立佐伯中学校 令和6年度

【自律】学校だより

ホームページ [http:// www.hatsukaichi-edu.jp/saiki-j/](http://www.hatsukaichi-edu.jp/saiki-j/)

学校教育目標:「夢や目標に挑戦し、自己実現を図る生徒の育成」

12月号 (No.22)

令和6年

12月2日 (月)

はつかいちサンブレイズ 来校

11月5日(火)と11月26日(火)に「はつかいちサンブレイズ」の選手が佐伯中に来てくれました。5日は2年生のソフトボールの授業で、サンブレイズの鶴見選手、佐藤選手、田中選手、坂東選手にアドバイスをもらいながら、楽しく授業ができました。また、26日は全校生徒の前で坂東選手にお話をいただき、各クラス代表が鶴見選手と硬式球を使ってキャッチボール体験をしました。



ここで、来校した選手の簡単なプロフィールを紹介します。(公式 HP から抜粋)

2 鶴見栞奈(つるみ かな)外野手 茨城県出身 「疾風怒濤のスピードスター」

6 佐藤侃奈(さとう かな)内野手 徳島県出身 「燃え上がる闘争心」

20 田中愛莉(たなか あいり)内野手 広島県出身 「流れを変える豪打爆発」

15 坂東瑞紀(ばんどう みずき)投手 広島県出身 「闘志みなぎる広島魂」

ソフトボールの授業の様子は、中国新聞に掲載されたので読んだ人もいるでしょう。一緒に活動することで、サンブレイズに親しみが湧いたと思います。



実を言うと、この日は選手の皆さんにとって第10回女子硬式野球西日本大会(11月8日~10日)直前という大切な時期でした。

そんな日に来ていただき、ありがとうございました。そして、その大会で初優勝されたことです。本当におめでとうございませう。(詳細は公式 HP を見てください。)

坂東選手の挑戦する姿から学ぶ

(1) どんな中学生でしたか。

野球部に入り、男子に混じって活動しました。勉強も頑張りました。3年生の時に中体連で地区優勝しました。(当時坂東さんの担任だった先生に聞いてみると、勉強もできたし、意志の強い生徒だったそうです。)



(2) 高校進学を決めた時はどんな気持ちでしたか。

当時は、女子野球部のある高校が全国で5つしかなく、女子野球のできる環境を求めて東京の駒沢学園女子高校へ進学することにしました。両親は、最初心配していましたが最終的には「自分のやりたいことをやってみなさい。」と応援してくれました。

(3) 高校からどんな道を歩んだのですか。

高校2年の時に女子プロ野球が始まり、プロ野球選手という目標ができました。学校の先生にもなりたかったので、大学は教員免許も取ることができて野球もできる場所を選び、愛知県の至学館大学に進学しました。

(4) これまでの野球人生で一番の思い出は何ですか。

大学卒業後に「埼玉アストライア」に入団し、昨年度までは阪神タイガース Women に所属しましたが、念願だった日本代表に選出され活躍できたことが一番の思い出です。

右の写真は、昨年9月14日に三ツきんさいスタジアムで行われた「カーネクト presents 第9回 WBSC 女子野球ワールドカップ・グループB」で、侍ジャパン女子のメンバーとして第2戦に先発し、フランスに20対1の5回コールド勝ちに貢献した時のものです。力強いフォームでとても素敵ですね。



坂東瑞紀投手

(5) これからの夢はありますか。

故郷の尾道で試合をしたことがないので、そこで行われる試合で投げることが夢です。



講演の様子



生徒とキャッチボール



全体集合写真

【坂東さんの話を聞いた生徒の感想】

○坂東さんは、何度もいろんな選択を迷いながらしてきた方だと知って、尊敬できる人だなと思いました。

○本当に野球が好きで、好きなことに自信をもっているのがかっこいいと思いました。

○夢をもつことは大切で、夢に向かって生きていこうと思いました。

○坂東さんの歩んできた人生を知ることができて、とてもいい機会だったと思います。試合も観に行ってみたくなりました。これからも頑張ってください。

○将来のことを考えて高校を決めようと思った。

○夢をもつことっていいことだなと思ったし、夢を追いかけることもすごいなと思いました。